



『希望・創造・友情』あふれる学校

# すずかぜ

都立花畑学園

第10号

R5/12/25 発行

花畑学園の学校だより



オリンピック・パラリンピックレガシー教育

主幹教諭 小宮山 都美

12月としては暖かい日もありましたが、朝夕はぐっと冷え込む日も多く、冬らしい季節になってきました。寒暖差もありますので、体調管理には十分留意してお過ごしください。

今年度、オリンピック・パラリンピックレガシー教育として様々な取組を行っています。7月には味の素ナショナルトレーニングセンターへの訪問、10月、11月にはパラバドミントン選手との交流、そして12月8日にはやり投げとビームライフルのパラリンピック選手を迎えて体験学習と大型野球盤体験、eスポーツ体験を行いました。こちらの体験会には花畑第一小学校の3年生も参加し、大盛り上がりの日となりました。

オリンピック・パラリンピックレガシー教育は、スポーツへの関心を高めるだけでなく、ボランティアマインドや、国際理解など、共生、共助社会の形成を担う子供たちの育成を目指しております。本校の児童・生徒だけでなく、地域社会全体で子供たちの豊かな学びになる機会をつくり、今後の教育活動の充実につなげていきたいと考えております。

今後もレガシー教育や芸術鑑賞会など、本物に触れる機会をとおして、子供たちの主体的な学びにつながる活動を推進してまいります。保護者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願ひいたします。

## 【知的障害教育部門 小学部 低学年より】

学年主任 植竹 安彦

1年生は全ての行事が初めての体験です。ドキドキとワクワクが重なりますが、友達と一緒に活動することで、新しい体験にワクワクを膨らませて過ごしています。2年生、3年生も事前学習を通して、本番当日の楽しみを膨らませて学習を積み重ねてきました。

1・2年生は、足立区生物園に行ってきました。1年生は初めての校外学習でしたが、大きな水槽に泳ぐ魚たちに目が釘付けになりながら楽しみ、学校に戻ってから給食を食べました。2年生は昨年を思い出し、さらに広く園内を見学して楽しみ、学校へ戻ってからお弁当を食べました。3年生は東武博物館へ行き、電車のシミュレーター体験などを楽しみ、学校に戻りお弁当を食べました。学年を追うごとに、学習内容を少しずつステップアップする校外学習。今年度の体験を糧に、来年度につなげて参ります。

## 【肢体不自由教育部門 小学部 低学年より】

学部主任 田中 沙希子

10月27日(金)・28日(土)の二日間で行われた学園祭。小学部低学年は、1年生が「なかよし くれよん」2年生が「Cheese Town〜どたばた大騒ぎ〜」3年生が「星の子たちの大冒険」というテーマでビデオ発表を行いました。1年生は初めての学園祭。ドキドキしたと思いますが、一人一人がかわいいクレヨンになって笑顔いっぱい力を出し切ってくれました。2年生は、個々の課題をお話の中に落とし込み、楽しく賑やかに日頃の学習の成果を発表することができました。3年生も堂々と自分たちの得意なことを発表し、それぞれのお星さまにのせて協力して大きなお星さまを作ることができました。

こうしてみると、一年一年の積み重ねの大きさ、大切さを感じます。これも日々の学習の成果と心を新たにして、毎日の生活を充実したものにしていきます。